

17議案を可決



令和2年 第5回 芳賀町議会 定例会

同意



▲樋田貞夫氏

□芳賀町監査委員の選任について
令和2年6月5日をもって任期満了となる樋田貞夫氏（東水沼）を引き続き最適任者として選任することを議員全員が同意しました。



▲穂山光子氏

□人権擁護委員の候補者の推薦について
令和2年9月30日をもって任期満了となる阿久津正敏氏の後任として、穂山光子氏（下高根沢）を最適任者として法務大臣に推薦することを議員全員が同意しました。

芳賀町農業委員会委員の任命について

農業委員会委員が、令和2年7月19日をもって任期満了となるため、新たな農業委員会委員11名を任命することを議員全員が同意しました。

氏名
小林 広美（祖母井）
佐藤 昌弘（稲毛田）
小林 芳晴（上延生）
大根田源一（下延生）
穂山 安之（下高根沢）
若林 孝男（芳志戸）
荷見 公子（芳志戸）
酒井 和夫（東水沼）
石下 真吾（東水沼）
小林 峰子（東高橋）
黒崎 俊行（打越新田）



農業委員会委員に任命された皆さん

定例会の概要

令和2年第5回芳賀町議会定例会が6月1日から3日までの3日間の会期で開かれました。
初日の6月1日は、町長から提出された議案の提案理由の説明を受け、同意案を可決しました。また、発議案件の趣旨説明、質疑・討論・採決を行い、一般質問を行いました。
最終日の6月3日には、報告案件についての質疑を行い、その他の議案の質疑・討論・採決をし、原案どおり可決しました。
また、総務・教育民生・産業建設常任委員会から申し出のあった閉会中の継続調査を議決により許可することとし、定例会を閉会しました。

報告

□繰越明許費繰越計算書の報告について（令和元年度芳賀町一般会計）
□繰越明許費繰越計算書の報告について（令和元年度芳賀町公共下水道事業特別会計）
令和2年第1回芳賀町議会定例会において、繰越明許費の議決をしたものを、令和2年度に繰り越しし、繰越明許費繰越計算書により報告するもの。（質疑・討論なし、原案可決）



条例改正・補正予算など

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について

□芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明書の提出について

両法人の経営状況を説明するため、令和2年度事業計画及び収支予算を報告するもの。

〔質疑〕 石川保議員、小林一男議員

(討論なし、原案可決)

条例改正

□芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

町長、副町長及び教育長の給料月額について、令和2年7月1日から令和3年3月31日までの間、100分の5を乗じて得た額を減額して支給するため、条例の一部を改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

厚生労働省令の一部改正に伴い、放課後児童支援員

認定資格研修の実施者に中核市の長を追加するため、条例の一部を改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

補正予算

□令和2年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)

総額に1025万1千円を追加し、予算総額を119億1375万2千円とするもの。

〔質疑〕 北條勲議員

(討論なし、原案可決)

発議

□議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

令和2年7月1日から令和3年3月31日までの間、100分の5を乗じて得た額を減額して支給するため、条例の一部を改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

令和2年度一般会計補正予算(第4号)の主な歳入歳出

※色付きは新型コロナウイルス感染症緊急対策のもの

歳入

項目		補正額
国庫支出金	学童保育でのマスク・消毒液等の購入に対する子ども・子育て支援交付金	150万円
	マイナンバー情報連携体制整備のための子育て支援事業費補助金	22万円
県支出金	保育園等でのマスク・消毒液等の購入に対する保育対策総合支援事業費補助金	164万9千円
繰越金	前年度繰越金	508万2千円
諸収入	コミュニティ助成事業助成金	180万円

歳出

項目		補正額
議会費	令和2年7月から令和3年3月までの議員報酬減額分	▲162万9千円
総務費	令和2年7月から令和3年3月までの町長、副町長給料減額分	▲60万3千円
民生費	マイナンバー情報連携のための児童手当システム改修費	33万円
	祖母井保育園におけるマスク・消毒液等の購入費	31万6千円
	町内の認定こども園に対するマスク・消毒液等の購入費補助金	133万3千円
	町の自粛要請に応じた利用者に対する3月分の保育料返還金	238万1千円
	町内の学童保育に対するマスク・消毒液等購入のための運営委託料	150万円
	町の自粛要請に応じた利用者に対する3月分の学童保育料返還金	74万5千円
消防費	町指定避難所などで使用する簡易トイレ・間仕切りなどの衛生用品購入費	432万5千円
教育費	令和2年7月から令和3年3月までの教育長給料減額分	▲24万7千円
	西高橋農業構造改善センターのエアコン設置のためのコミュニティ助成事業助成金	180万円

委員会活動・常任委員会の議会閉会中の継続審査



常任委員会は、所管する町の事務について自主的に調査を行う権限を有しており、これを「所管事務調査」といいます。総務・教育民生・産業建設常任委員会は、議会最終日の6月3日に閉会中の所管事務調査について議長に申し出し、議決により許可されました。各常任委員会は次のテーマについて調査を行い、12月定例会で調査結果を報告する予定です。

総務

道路交通環境の整備対策について

調査の目的

当町における交通事故は、依然として発生している。交通事故を防止するためには、注意喚起の看板、信号機や指示標識の設置、通学路周辺におけるゾーン30の指定等が極めて重要であることから、町執行部、警察、関係団体等と協働で事故防止策を調査研究する。

教育民生

学習者用端末の活用方法について

調査の目的

文部科学省においてGIGAスクール構想の加速による学びの保障、災害や感染症発生等による学校の臨時休業等緊急時においても、ICTの活用により全ての子ども達の学びを保障できる環境整備を推進している。

当町の教育現場において、GIGAスクール構想で整備される機材の利活用をどう進めるか調査研究する。

産業建設

地区計画の推進について

調査の目的

振興計画に基づく地区計画が推進されているが、地権者も含め地元住民同意のとりまとめ等、図面化に向けた進め方について先進地の事例を調査研究する。

新型コロナ早期収束を願う

6月定例会で可決！議員報酬減額します。

新型コロナウイルス感染拡大対策に活用してもらうため、令和2年7月から令和3年3月までの9か月間5%減額します。

議長	15万3,000円
副議長	12万6,000円
議員	11万2,500円（12人）

合計 162万9,000円

12人が政務活動費を辞退しました。

芳賀政友会（小林俊夫、小林一男、岡田年弘、小林信二、大根田周平、山口菊一郎）、志友会（石川保、北條勲、岩村治雄、大根田弘、中村由美子）並びに小林隆志の12人は令和2年度の調査研究は自己負担で行います。辞退した金額については以下のとおりです。

年額12万円×12人

合計 144万円